

田尻町地球温暖化対策実行計画に係る実績報告書（令和 7 年度）

1 計画の概要

田尻町では温室効果ガスのうち、最も地球温暖化への影響が高く、公共施設及び行政サービスの中で削減可能な二酸化炭素（CO₂）を削減対象とし、平成 24 年度を基準年度として、町の公共施設から排出される CO₂について、令和 3 年度から令和 12 年度の 10 年間をかけて 26 %削減する目標を立てた。

＜実行計画による目標値＞

対象温室効果ガス	基準年度排出量 (平成 24 年度)	削減目標 26%	目標年度排出量 (令和 12 年度)
CO ₂ （二酸化炭素）	1, 312, 700 kg CO ₂	△341, 302 kg CO ₂	971, 398 kg CO ₂

2 エネルギー使用量

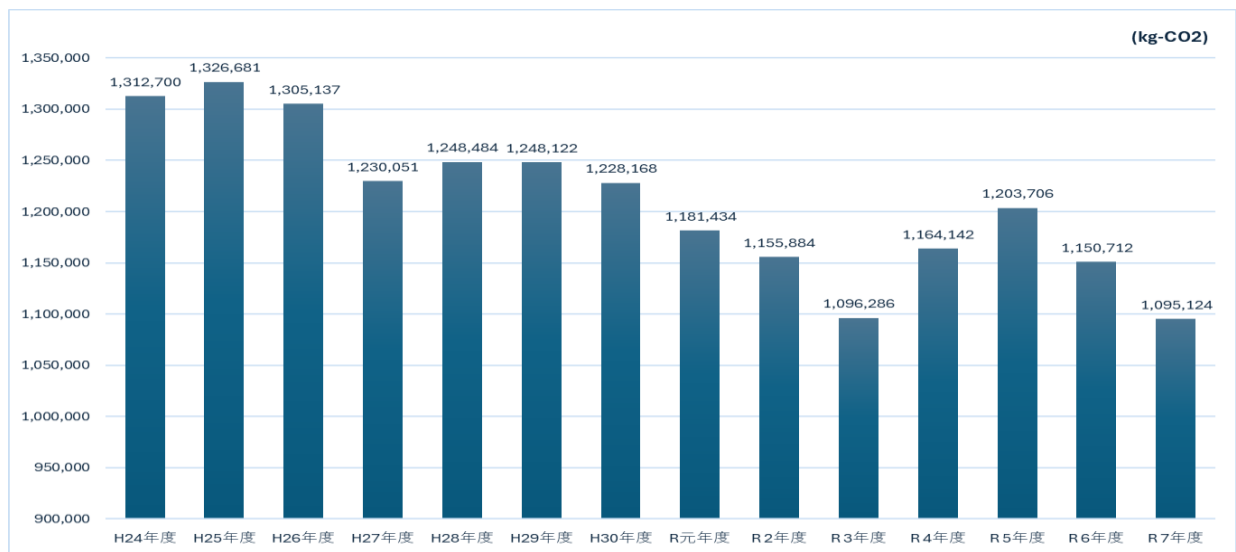
	ガソリン (ℓ)	灯油 (ℓ)	軽油 (ℓ)	重油 A (ℓ)	L P ガス (㎡)	都市ガス (㎡)	電 力 (kwh)
H24 年度	11, 955. 3	6, 416	3, 446. 7	3, 600	95. 3	123, 742	2, 146, 403
R 5 年度	3, 986. 4	5, 989	931. 9	4, 500	3, 234. 6	136, 445	1, 864, 378
R 6 年度	3, 782. 5	7, 872	955. 7	3, 500	3, 921. 7	145, 617	1, 862, 228
R 7 年度	3, 437. 5	6, 477	516. 9	3, 500	4, 132. 4	140, 606	1, 781, 485
基準年度比 (%)	△71. 3	1. 0	△85. 0	△2. 8	4, 236. 2	13. 6	△17. 0
R 6 年度比 (%)	△9. 1	△17. 7	△45. 9	0	5. 4	△3. 4	△4. 3

3 温室効果ガス (CO₂) 排出状況

(1) 基準年度に対しての削減率

対象温室効果ガス	基準年度排出量 (平成 24 年度)	令和 7 年度	基準年度比
CO ₂ （二酸化炭素）	1, 312, 700 kg-CO ₂	1, 095, 124 kg-CO ₂	1 6 . 6 %

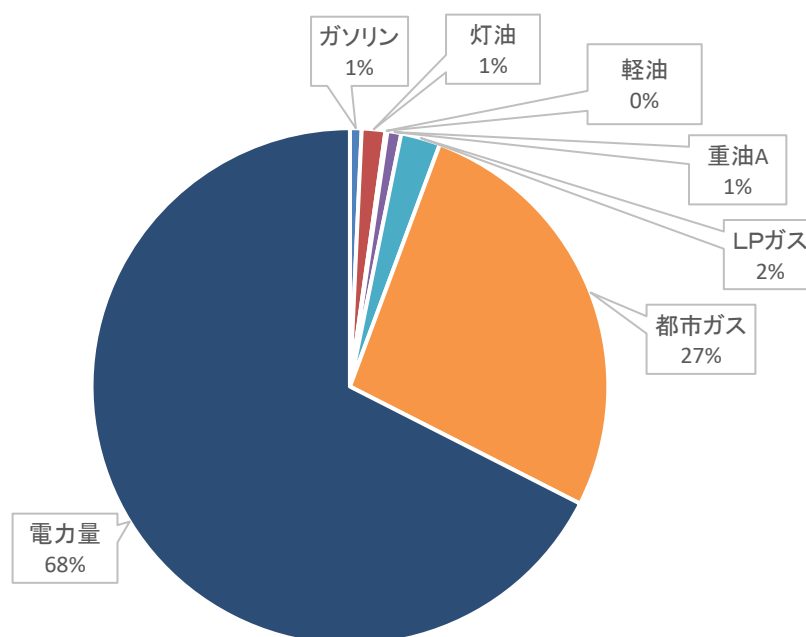
＜参考＞ 平成 24 年度～令和 7 年度温室効果ガス排出量



※令和 6 年度から、電気使用に係る温室効果ガス算定のための排出係数は、環境大臣及び経済産業大臣が告示したものを用いた。

(2) 要因別の温室効果ガス(CO₂)排出状況(kg-CO₂)

年度	電気	ガソリン	灯油	軽油	重油 A	L P ガス	都市ガス	合計
H24 年度	965,881	27,756	15,973	8,910	9,755	623	283,802	1,312,700
R 7 年度	739,316	7,981	16,125	1,336	9,484	27,016	293,866	1,095,124

令和 7 年度温室効果ガス(CO₂)の割合

4 評価・今後の取組

(1) 評価

令和 2、3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中、公共施設での事業縮小や貸館回数等の減少により、温室効果ガス排出量が基準年度比 16.5%まで減少したが、令和 4 年度は、感染拡大前の削減率に戻った。その後、徐々に照明の LED 化を進めていることなどから、温室効果ガスは減少傾向であるが、ZEB 化未実施の公共施設の増加や夏の猛暑などの影響により、温室効果ガス削減目標の達成は厳しい状況である。

(2) 今後の取組

本町では、2050（令和 32）年に二酸化炭素排出ゼロを目指した「田尻町ゼロカーボン宣言」を表明していることから、全職員が温室効果ガス削減の意識を持って、ゼロカーボンに向けた積極的な取組を行う必要がある。

その取組に際しては、国が定めた政府実行計画に準じて取り組むこととされていることから、既存の公共施設については、照明の LED 化や省エネ機器の導入を今以上のスピードで進めるとともに再生可能エネルギーの導入、公共施設の ZEB 化についても取組を進めていく。